

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

[ 取組 2 ] 看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成  
 ( 3 ) チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成  
 口腔機能回復支援領域 ( 歯科衛生士、歯科技工士 )

	整理番号	26
申請担当大学名 ( 連携大学名 )	東京医科歯科大学 ( 広島大学、九州歯科大学 ) 計 3 大学	
事業名	健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成	
事業責任者	大学院医歯学総合研究科長 歯学部長 森山 啓司	
<b>事業の概要</b>		
<p>本事業は、歯科衛生士及び歯科技工士を目指す学部学生に、チーム医療が実践できる技術力を修得させることを目的とし連携大学の特色を生かした教育プログラムを実施する。また、実習指導者の指導力・技術力を向上させるプログラムを構築する。事業概要を以下に示す。1. 学部学生教育プログラムとして、大学附属病院におけるチーム医療実践プログラム、回復期病棟での多職種連携実践プログラム、デイサービス施設・附属病院におけるチーム医療実践プログラム、歯科技工士による手術支援プログラムを実施する。2. 指導者養成プログラムとして、周術期患者の口腔機能・衛生 ( 口腔ケア ) 管理におけるチーム医療指導者養成プログラム ( 履修証明 ) を提供する。3. 連携大学のプログラムを共有するため教員の相互派遣を行う。4. 大学教員と実習先の病院・施設における実習指導者との連携強化のため、合同連絡会・多職種合同症例検討会を開催する。</p>		
<p>推進委員会からの主なコメント : 優れた点等、 : 充実を要する点等</p>		
<p>臨床実習前の教育については、本事業での成果を反映させた DVD・e-learning・実習書などの教材の作成や、実習指導者の研修を計画しており、普及が期待できる。更に学部学生などの実践的実習を実施するための実習先との関係づくりや実施についてのノウハウなども合わせて情報発信することが期待される。</p> <p>東京医科歯科大学の履修証明プログラムについて、実践経験が豊富で高い知識・技術力を持った連携大学・関連病院の教職員などによる実技研修などを盛り込んだ点は期待できる。</p> <p>期間中にプログラムに参加する学生は歯科衛生学生及び歯科技工学生合わせて、のべ 456 名、指導者については 19 名を設定しており、成果のひとつとしてふさわしい目標設定である。また、歯科衛生士・歯科技工士教員を中心に相互派遣によりプログラム研修が実施されれば、臨床実習前のスキル教育の充実が期待できる。</p> <p>中間報告、最終評価に外部評価を計画しており、客観的な評価を行う予定になっている。また、評価指標は予算執行状況、派遣状況、自己評価、総合評価、外部評価から構成され、多方向からの評価となっており、本プログラムの評価として妥当である。</p> <p>教育プログラム・コースの内容は具体的で段階的に学習が進行するようになっており優れている。</p> <p>大学病院、回復期病棟、デイサービス施設・附属病院における実践や手術支援プログラムを導入しており、新規の取組となっている</p> <p>3 大学それぞれに異なるプログラムを計画しており、それらを共有することによって発展させようとしているため、それぞれの役割分担が明確であり評価できる。</p> <p>歯科衛生士養成、歯科技工士養成で行われているカリキュラムが、更に過密化すると考えられるため、大学の学生へのフォローについても検討し、明確にされることが望ましい。</p> <p>広島大学の歯科衛生士学生向けのプログラムについては、現状で学生に対して行っている講義演習と、本プログラムの差、新規に追加しようとしている部分を明確にされることが望ましい。</p> <p>予算要求項目に口腔機能管理シミュレーターとあるが、東京医科歯科大学では、既にデモンストレーションを行っているとの記載があり、購入の必要性を明確にすべきである。</p>		

キャリア教育・キャリア支援について、大学としての具体的な体制が示されておらず、歯科衛生学生と歯科技工学生の進路相談やサポート、実習指導者がプログラムに参加できるようにするためのサポートをどのように行うのかが不明である。

大学間でプログラムを共有し、継続して実施していくためには、各大学で実際の教育を担当する歯科衛生士、歯科技工士の教員が担当者として参加が必要であるため、体制の充実を期待する。

外部評価委員などの名前の記載がないが、適切な評価者を選定されることを期待する。